

## ANM176 使用者の記憶力・認知機能チェックサービスが始まりました。

ANM176 商品は、認知用の予防や改善を目的とした食品用製剤 ANM176®を主成分とするサプリメントです。ANM176 使用者の記憶力・認知機能チェックサービス（以下、本サービスと言います）は、一般社団法人認知症予防・改善推進会（以下、当法人と言います）が実施するサービスで、ANM176 商品の使用者が記憶力と認知機能の定期的なチェックを無料で受けられます。

本サービス利用者がチェックした結果を記入して当法人の本サービス係に送ると、その結果を「まとめ」た総合評価内が返送されてきます。この「まとめ」の推移から記憶力と認知機能の推移がわかり、認知機能の管理を通して脳の健康維持に役立てることができます。本サービスの案内は、まず、従来からの ANM176 商品のご利用者から順次始めております。

認知症の約 7 割を占めるアルツハイマー病（以下、AD と言います）を予防するためには 20 年前からのケアが必要と言われおり<sup>1)</sup>、認知症予防に 50 代から取り組むことが重要です。75 歳以上になると運転免許証更新時に行う認知機能検査で、84 歳以上で正常な人は半数以下とのことですが<sup>2)</sup>、認知症の予防や改善を目的とするためには 1 年以内の再検査が必要です。家にいながら 6 ヶ月ごとに認知機能をチェックできる本サービスによって、認知症の予防に役立てることができます。

AD の原因たんぱく質と言われている  $\beta$  アミロイドには記憶力や学習力を低下させる  $\beta$  アミロイド神経毒性があります。漢方生薬のトウキの根には 13 種類もの  $\beta$  アミロイド神経毒性抑制成分が含まれ、これらは相乗効果があります<sup>3)</sup>。医薬品であるトウキの根は食品には使えないので、トウキと同じ仲間であるハーブとして利用されているガーデンアンゼリカ（以下、GA と言います）の根が注目されました。

しかし、GA の根にはトウキとは異なり、 $\beta$  アミロイド神経毒性抑制成分の 1 つであるフェルラ酸が含まれていません。このため、米ヌカから抽出したフェルラ酸がガーデンアンゼリカ根の抽出物に配合されました。一方、GA の根中の  $\beta$  アミロイド神経毒性抑制 12 成分の含量も極端にバラつくため、 $\beta$  アミロイド神経毒性抑制成分 13 成分が一定量に規格化された食品用製剤 ANM176®が開発されたのです。ANM176®は単独使用や認知症の医薬品と併用して AD の進行抑制効果が臨床試験で示され<sup>4)</sup>、また、この試験に参加した MCI（軽度認知障害）レベルの 11 例中 9 例が 9 ヶ月後に改善したことから、認知症予防の可能性も推察されます。MCI には認知症の予備軍が含まれると言われています。

健常者が予防を目的にサプリメントを使用する場合、長期使用に耐えられる安全性が重要です。ANM176®に配合されているフェルラ酸は米のヌカに由来するもので食品としての安全性が認められています<sup>5)</sup>。また、ガーデンアンゼリカ根は古くからヨーロッパでハーブとして利用され、欧州医薬品庁は、ガーデンアンゼリカに含まれるフロクマリン類の NOAEL（副作用が観察されないレベル）基準を示しています<sup>6)</sup>。ANM176®の  $\beta$  アミロイド神経毒性成分の含量管理から、ANM176 商品の標準使用量から摂取されるフロクマリン類は NOAEL 基準内です。

### 参考文献

- 1) Sperling RA *et al.* *Alzheimers Dement.* (2011) 7(3):280-92
- 2) 日経新聞 2017/1/21 [https://www.nikkei.com/article/DGXLASDG21H07\\_R20C17A1CC0000/](https://www.nikkei.com/article/DGXLASDG21H07_R20C17A1CC0000/)
- 3) Yan JJ *et al.*, *Biol. Psychiatry* (2004) 28:25-30
- 4) 中村 重信他 *Geriatr Med.* (2008) 46:1511-19
- 5) 井上 達 [既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究] 平成 21 年 3 月
- 6) [Handbook of medicinal herbs,2007] EMEA (European Medicines Agency)